私の抱負

畔上　雪夫
川根谷内（昭和19年生まれ）

毎日物質的な豊かさばかり追い求めて物事を考え、他人とのつながりを断ち、そして他人はどうであろうと知ったことではないと、自分本位にしかことを運ぼうとしない。

なにや、かやと、感音で聞きとれないのかもしれませんが、時々聞く耳を持たないような人が、私も含めて実に多くいるなあと、つくづく思う事が度々あります。

対話の中ではあの時あんな事を言わなきゃよかった、などと後悔することもあります。

良い悪いは別として、だれかが何か事をすると、自分のことは棚にあげてすぐ批判しきく者と異名を持つ程その例は多々あるようです。猿真似猿知恵、あさはかさのいたりです。まさに滑稽な動物です。

でも、こうした猿の人間的な仕ぐさもなかなか愛嬌のあるもの。私は彼らのそんな所をこれからの毎日にとり入れてユニークな生活を試みたいと思います。

目をまるく見ひらき、何にでも挑戦して、どんどん自分自身の血肉になるよう心がけ又悪い事には「見ざる、聞かざる、言わざる」、少々調子がいいようですが、こんな一年にしてみたいと思います。

とりあえず、今年は私の最大の夢「ヨーロッパ旅行」を計画していますが、他の事にもすべて「猿」（えん）（縁）のある年になるよう努力して行くつもりです。

※　※　※

最大の年にしたい

坂井とみ
小杉下（昭和31年生まれ）

日本人はお風呂好きとよく言われます。

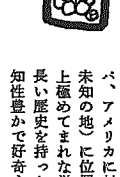
島国日本は、北から南にかけて長い火山帯を背に持つ温泉国ですが、その歴史をひもといてみても、動物達が私達人間に与えてくれた影響は計り知れるものではなく、楽しくエピソードとして残っているようです。

猿、鶴といったたぐいの動物達が湧き上がる湯を発見して傷をいやした話、その他彼らが語り伝えの中に生きて私達に教訓を与え、又夢を分け与えてくれている事に感謝しています。

風光明媚なこの国で動物達の活躍を忘れる事は出来ませんが、八十年の干支、「申」も話題のひとつ。私も申年の一人ですが、ずるくて小才の真似たりする典型的な日本人と言いましょうか、私供申年生まれと限りませんが、身につまされることがあります。

こんな中で、簡単でなかなか出来ない事、何事もよく見て色々な立場の人、それぞれの話をできる限り多く聞き、じっくりと腰を据えて考え、心に余裕を持って話し、物事を処理して行きたい。

さらに利己的になったり、現実を悲観したり、と言うことのないよう、よく見る、聞く話す「さる」と、ひと回りも幼稚で若い気構えで、酒、女、ギャンブル、スポーツ等々私は広い視野でさるでなく人でもなく、「間」のある人間としての豊かさを持つようこのぎくしゃくした現実に足をとられつゝも努力して行きたい。



新年の抱負

山川千枝子
二本木中（昭和31年生まれ）

今年は、なんとかして取得したいものがあります。それは第一に車の免許を取ること第二に編み物を習うこと。第三に着付けを習うこと。

この三つなんですけど、その中で一番むずかしいのが車の免許を取ることです。

家族に車の免許を取ると言ったら、みんな口を揃えて車を買うほどかかったらどうすると半分ひやかされました。私は、五人兄弟の末っ子で中でも一番ぶきようなのが私ですなんとか取れるようがんばりたいと思います。

去年の八月に、父が亡くなったばかりなので、母だけには長生きしてもらいたいと思っています。

苦労してきた母だけに、親孝行を怠らぬよう。

それから兄が早くお嫁さんを貰うように。

大きな飛躍の年にしたい

遠藤雅英
横越上（昭和31年生まれ）

機会あって昨年は海外（フィリピン）へ出張に行って来ました。国内の出張でも同じですが、地元を離れてはじめて、自分の住んでいる所の良さ、悪さをしみじみと感じるものです。特に海外に於いては、日本という国がどれほど特異な国であるか、つくづく思いました。

世界の中心であるヨーロッパ、アメリカに対して極東（未知の地）に位置し、世界史上極めてまれな単一民族国家長い歴史を持った国。勤勉で知性豊かで好奇心が強く、心の深い人柄、反面、属に言う島国根性、礼儀知らずと、外国人から見れば、何んと不思議な国民だろうと思うでしょう。

しかし、それ等全てが、今日の日本の世界に於ける活躍の源である事は言うまでもありません。

とは言うものの、悪いものは直さなければなりません。現地の人達の驚く程の親切さや素直な気持を感じる度に、日本人の自分勝手な行動、君主危うきに近寄らず的考えは正さなければならないと思います。常に人道的見地に立ち相手の立場を理解することが大切ではないでしょうか。

今年は我が申年、世の中を大いに見て、聞いて、話し合い、特に精神面で大きく飛躍したいと思います。

今年の決意

藤山　五年三組　桜井　哲
（昭和43年生まれ）

ぼくが生まれて今年で十二年めになった、この十二年間いろいろなことがあった。

たとえば、一番大きなことといえば、四つの学校が一つになったことである。その時、ぼくは二年生だった。

今年は、最高学年だ。気持をおちつかせて、最高学年らしく責任ある行動を、心がけていきたいと思う。

そのわけは、先生や、うちの人から、「責任感がたりないぞ」といつもいわれているからだ。「責任」という意味があまりよくわからなかったので、辞典で調べてみたら「しなければならないつとめ」と書いてあった。言葉としてはかんたんだが、実行するとなるとむずかしいことだ。

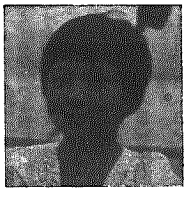
でも、これからは、「責任感がたりないぞ」などといわれないようにしていきたいと思う。

それとぼくのゆめだが、安全で野球などができるような広くてのびのび遊べる場所が藤山にも、あったらなあーと思います。

そのわけは、以前までは道路で遊べたけれども、今はだい部分あそべるところをほそうしてしまったから、交通量もふえてきたし、前はあきちもあったがみんなそこに、家をたてたので、遊べるところがせまく、家のにわや、せまいお宮などであそぶしかないからです。

今年の目標

木津上　石井明美
五年一組（昭和43年生まれ）



私の今年の目標は、まず最初に勉強のことで、そろばんで、二月に検定が二回あるので、その時に行って三級をとって、年の終わりには、二級をとりたいと思います。

次は、学校のことで発言をたくさんしたいと思います。

今度は、体育のことで、私は、あまり体育がすきでないので、がんばりたいと思います。その中身でまず最初は、マラソンです。マラソンは、昨年のマラソン大会は、二十九位で、まあまあだったけど六年で学校生活最後の年で、さる年で自分の生まれた十二支なのでせめて二十位以内に入りたいと思います。

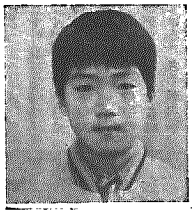
二つ目は、運動会のことなんだけど百五十居走のことでぼくは、四十三年生まれです。

四十三年は十二支の順番で言うとさる年です。ぼくの生まれた月は九月です。九月も十二支で言うとさるになります。日は十二日でした。もう三日前に生まれるとさる、さる、になる所でした。まったくみょうな気分です。

次にさると言うのは、動物の中で最もかしこい動物とされています。ぼくもさるのように頭がよくなるといいなあと思っています。またさるは

さる年に生まれて

小杉中　斎藤　実
五年二組（昭和43年生まれ）



昨年は、四位で悪かったんだけどマラソンと、同じわけで三位以内になりたいです。

最後に、水泳のことで、私は、水泳がきらいで、まだ五級なんだけどこれもマラソンなどと、同じわけで、四級はとれなくてもいいけど、二十五居以上泳げれば、じゅうぶんだと思います。

今年は、さる年なのでいいことのたくさんあるいい年にして反省をした時に、いい年だったと、反省に書かれるように今書いたことを、実行したいと思います。

集団生活をしていてみんなで仲良く遊んでいます。ぼくはさるのように集団生活はしていませんが、友達とは仲良く遊んでいます。

次にぼくの今年の目標ですが、四月から最高学年になるんだから責任感と実行力を持った、りっぱな六年生になることです。ぼくは少しあきっぽいという欠点を持っていますが、五十五年はどんなことでもしんぼうして最後までやり通す強い心を持ってがんばっていきたいと思います。

1月保健衛生業務予定

日	曜日	時間	内容	対象者	会場	対象
24日	木	午前9・30開始	離乳食講習会	昭和54年8月・9月生	横越村公民館	全村
25日	金	午後1・30～2・30	乳児検診	昭和54年1月・6月・10月生	〃	〃